黒田塾
相談前に使える学習チェック4枚

会員登録・LINE登録なしで使えるオリジナル例題。点数で学力や合格可能性を判定する教材ではありません。まず自分で取り組み、止まったところを確認してください。

1. 英語：一文の骨格を分ける

The book that I bought yesterday is on the desk.

① 文全体の主語は何ですか。
② 文全体の動詞は何ですか。
③ that I bought yesterday は何を説明していますか。

自分の答え	書いてみる
① 主語	
② 動詞	
③ 説明する語	

解答と、読み方を確かめるポイント

文全体の主語は The book、動詞は is。that I bought yesterday は book を説明しています。I bought は説明部分の中の主語と動詞です。訳：私が昨日買った本は机の上にあります。

単語の意味だけでなく、文全体の骨格と説明部分を分けられるか確認します。止まったなら、短い一文3文で主語・動詞・修飾先を示すことから始めます。

https://kurodaschool.jp/english-support/

2. 数学：条件から方針を選ぶ

$y = (x - 2)^2 + 1$

① $x \geq 0$ のとき、y の最小値は何ですか。
② $x \geq 3$ のときはどうなりますか。
③ どちらも、頂点が範囲に入るかを理由に使ってください。

確認すること	$x \geq 0$	$x \geq 3$
頂点の位置		
頂点は範囲に入るか		
最小値と、その理由		

解答と、方針の確認

頂点は $x = 2$、$y = 1$。$x \geq 0$ では頂点が範囲に入るため最小値は1です。$x \geq 3$ では頂点が範囲外で、範囲内で頂点に最も近い $x = 3$ のとき最小となり、最小値は2です。

式の形は同じでも、条件が変わると確認する場所が変わります。「平方の形だから頂点と定義域を比べる」と説明できるか確かめます。解説を閉じて、使える条件・求めるもの・最初の一手と理由を3行で書いてみてください。

https://kurodaschool.jp/math-support/

3. 算数：割合で比べる量を分ける

定価1,200円の品物を、定価の20%引きで買います。

① 値引き額はいくらですか。
② 支払う金額はいくらですか。
③ 20%を掛ける「もとにする量」は何ですか。

確認すること	自分の答え・式
もとにする量	
値引き額	
支払う金額	

解答と、式の意味

もとにする量は定価1,200円です。値引き額は1,200 × 0.2 = 240円。支払う金額は1,200 - 240 = 960円です。支払う割合は80%なので、1,200 × 0.8 = 960円でも求められます。

値引き額と支払う金額を区別し、何を基準に比べているかを言葉や図で説明します。正解の数値だけではなく、式に使った数の意味を自分で言えるか確認してください。

塾の宿題が残る場合は、宿題1回分の予定時間・実際の時間・止まった問題を記録します。必須範囲を勝手に削る前に、記録をもとに先生へ優先順位を相談してください。

https://kurodaschool.jp/junior-homework-support/

4. 計画：時間と終わりの条件を書く

勉強を続けた時間に加えて、「解説なしで何ができるか」を書いてみてください。教材を増やす前に、今ある課題を使える時間で終えられるか確認します。

書き方の見本（架空例）

課題	終わりの条件	予定
英語の短文3文	主語・動詞・修飾先を示す	20分
数学の例題2問	最初の一手と理由を解説なしで書く	30分

自分の次の課題を記録する

記録する項目	自分の場合
教材・範囲	
終わりの条件	
使える時間・期限	
実際にかかった時間	
止まったところ・相談すること	

自分の場合を相談したい方へ

公式LINEに「英語相談」「数学相談」「算数相談」「計画相談」のいずれかを送ってください。約30分の無料オンライン面談を希望する場合は「面談希望」と送れます。保護者・再相談も歓迎。入塾は任意です。

選んだ困りごとから、次に試すことを表示する学習チェック

継続指導の内容・料金を先に確認する